

# 東北地方 1か月予報

(5月17日から6月16日までの天候見通し)

平成15年5月16日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

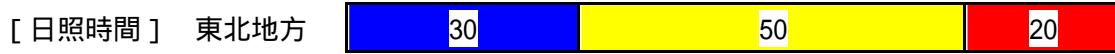
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は概ね周期的に変わりますが、期間の後半は前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3~4週目は平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 5月17日(土) ~ 6月16日(月)

1週目 : 5月17日(土) ~ 5月23日(金)

2週目 : 5月24日(土) ~ 5月30日(金)

3~4週目 : 5月31日(土) ~ 6月13日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は5月23日

3か月予報：5月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	15.7	152.8	187.1	14.2	15.1	16.5
新庄	16.8	97.4	182.6	14.8	16.0	17.8
若松	18.0	75.2	194.5	16.0	17.2	19.0
深浦	15.3	101.9	201.0	13.4	14.5	16.2
青森	15.3	78.2	206.1	13.6	14.6	16.1
むつ	14.1	97.6	196.4	12.6	13.5	14.8
八戸	14.8	90.5	199.7	13.5	14.3	15.4
秋田	16.7	111.0	200.4	14.7	15.8	17.8
盛岡	16.3	100.1	185.3	14.4	15.5	17.3
宮古	14.7	99.7	176.7	13.5	14.2	15.3
酒田	17.4	101.0	204.7	15.4	16.5	18.4
山形	17.9	76.2	194.8	16.0	17.1	18.8
仙台	16.9	104.4	178.0	15.4	16.3	17.6
石巻	16.1	89.5	190.2	14.4	15.4	16.9
福島	18.6	82.3	178.6	17.0	18.0	19.4
白河	16.9	127.4	169.6	15.2	16.3	17.8
小名浜	16.9	125.0	183.6	15.5	16.3	17.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.3	84~110	94~109
東北日本海側	-0.4~+0.3	81~115	96~108
東北太平洋側	-0.4~+0.3	83~109	93~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.6	-0.6~+0.6	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.7~+0.7	-0.6~+0.3
東北太平洋側	-0.4~+0.7	-0.7~+0.7	-0.6~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成15年5月16日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月17日~6月16日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、期間の後半は前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(5月17日~5月23日) :

期間の中頃は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の降る所が多いですが、その他の日は高気圧に覆われて概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月24日~5月30日) :

天気は概ね周期的に変わるものでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(5月31日~6月13日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

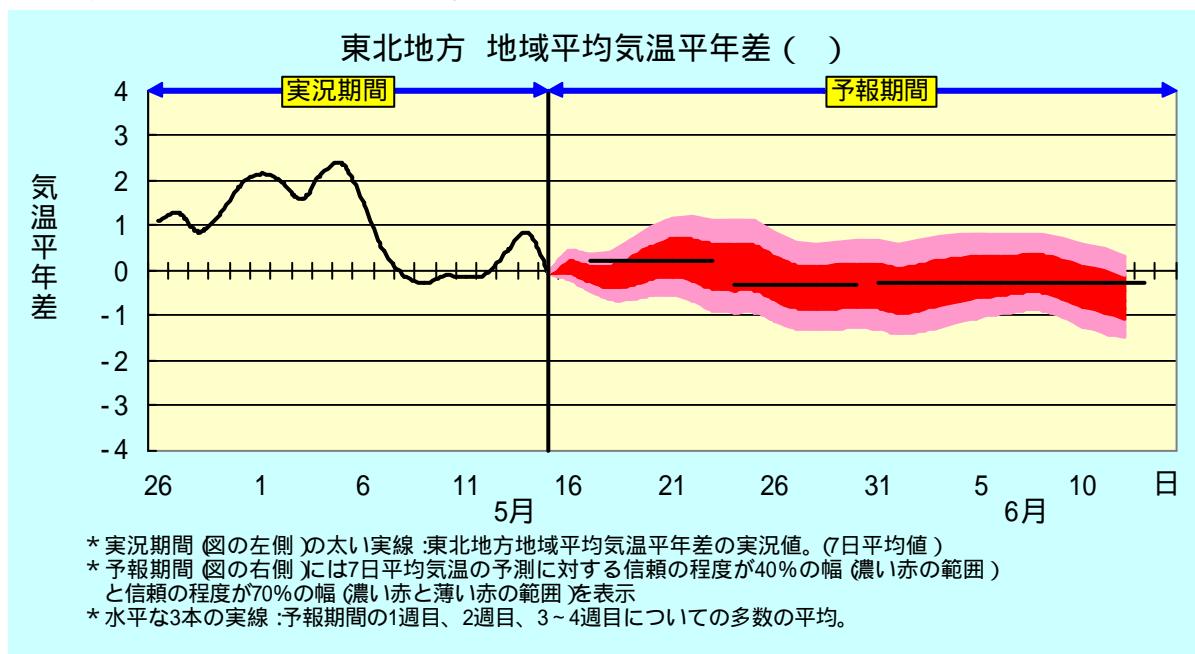
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.9日	3.9日	4.4日	7.6日
東北太平洋側	14.9日	4.0日	4.1日	6.8日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



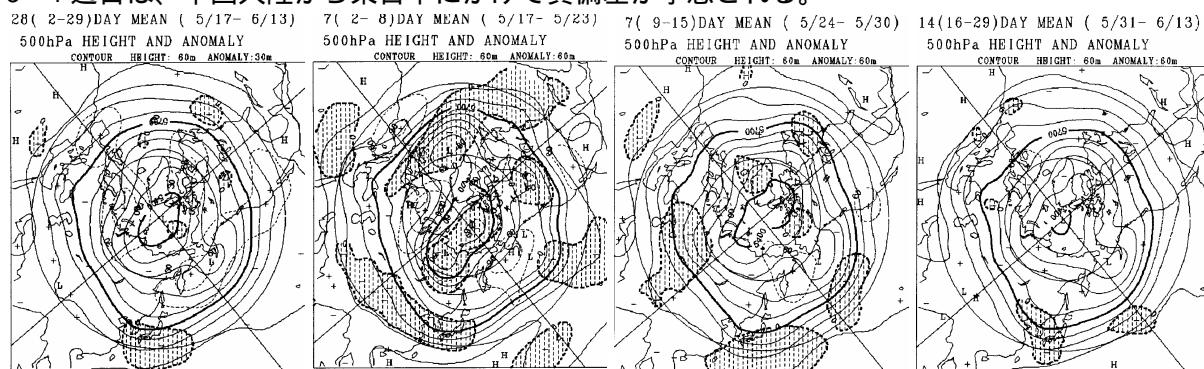
### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、北半球は広く正偏差に覆われるが、日本の南海上の負偏差が東北南部にかかる。カムチャツカ半島付近に正偏差の中心が予想される。

週別に見ると、1週目、中国大陸から日本付近にかけて東西にのびる負偏差が予想される。2週目は、日本付近の北緯40度以南に負偏差域、カムチャツカ半島付近に気圧の尾根が予想される。

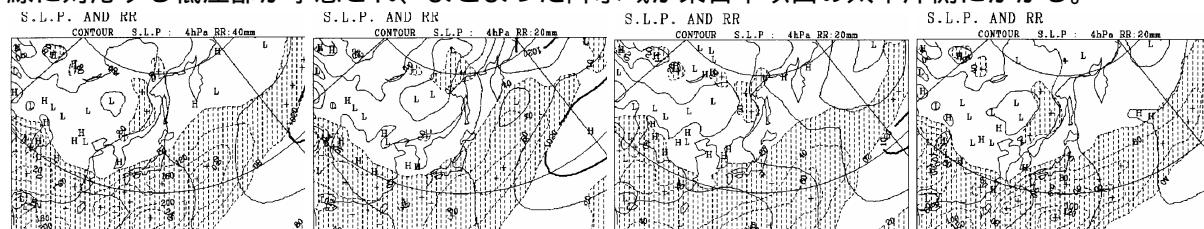
3~4週目は、中国大陸から東日本にかけて負偏差が予想される。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、北日本を中心に東海上の高気圧に緩やかに覆われるが、日本の南岸は低圧部となる。日本の南海上にはまとまった降水域が予想される。

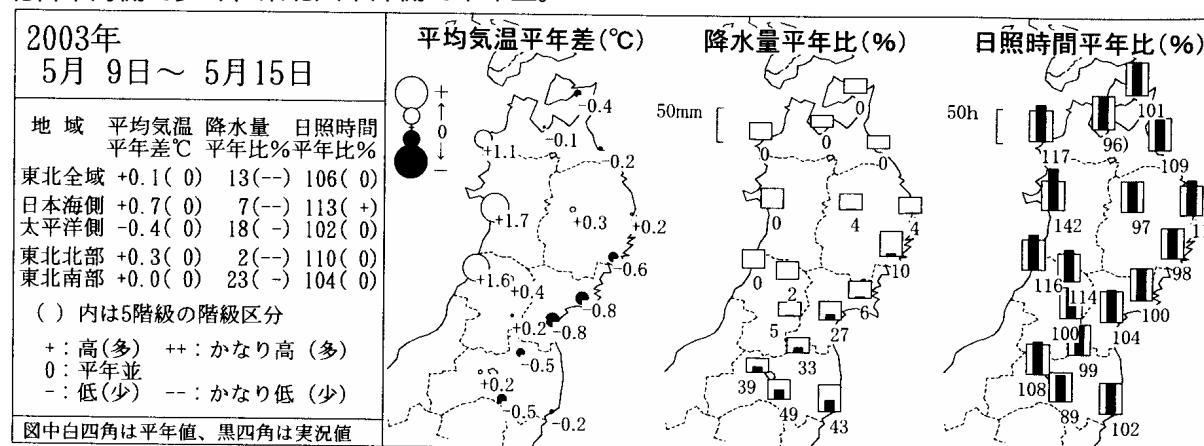
週別に見ると、1週目は日本の東海上の高気圧が北日本を覆う。2週目は、カムチャツカ半島付近の気圧が平年より高く、東北地方は北からの高気圧に覆われる。3~4週目は、日本の南岸に前線に対応する低圧部が予想され、まとまった降水域が東日本以西の太平洋側にかかる。



### 4. 最近1週間（5月9日～5月15日）の天候の経過

15日は南岸の低気圧の影響で東北南部を中心に雨となったが、まとまった降水量にはならなかった。その他の日は、弱い気圧の谷の影響で東北南部で曇る時期もあったが、高気圧に覆われ概ね晴れた。

平均気温は平年並。降水量は、東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は、東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)